

平成14年度ホタテガイ採苗情報 (第4報)

平成14年5月2日
発行:岩手県水産技術センター
協力機関:沿岸地方振興局水産部

「県南部では、付着稚貝数が増加してきました。」

1 ホタテガイ生殖腺指数の推移

4月25日に唐丹湾で、4月26日に山田湾で生殖腺調査を行いました。生殖腺指数の平均値は、唐丹湾が12%、山田湾が9%と、両湾ともに低い値で、既に産卵を終了している個体が多く見られました。

2 ラーバの出現状況

5月1日に唐丹湾でラーバ調査を行いました。ホタテガイラーバの出現数は、殻長200 μ m未満が33個/トン、200 μ m以上が11個/トンと、前回調査時(合計7個/トン)より増加しました。

なお、調査時の水深10m層の水温は9.9 $^{\circ}$ Cで、前回調査時より0.9 $^{\circ}$ C上昇しています。

3 試験採苗器への付着状況

4月30日以降の調査では、釜石および大船渡地区で付着稚貝が確認されています。ほとんどの調査地点において、減少ないしは横ばいであるのに対して、広田湾に面した暮磯では41個/袋と増加しています。

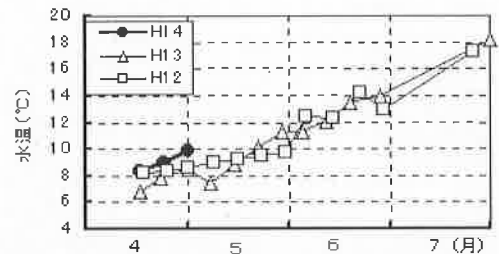


図 唐丹湾における水深10m層水温

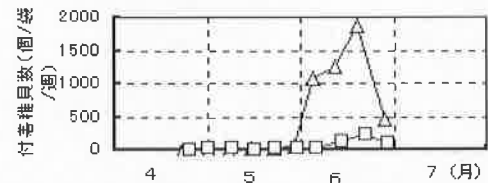
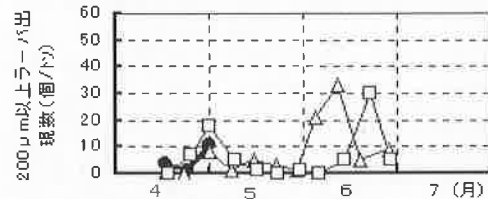


図 ホタテガイラーバ・付着稚貝の出現状況



○: 生殖腺調査
●: 付着稚貝調査 (調査地点: 採苗器垂下期間、付着稚貝数)
図 調査地点および付着稚貝調査結果

県中南部では、依然として小型のラーバが主体ですが、付着間近の大型の個体も確認され始めました。

また、水温も上昇し、付着に適した条件になりつつあります。

今後の調査結果に注意して下さい。

次報は、5月10日頃発行する予定です。